

8 埋設部分の漏えい事故対策

埋設配管や地下タンクからの漏えい事故は気が付きにくいいため、被害が大きくなりがちです。特に地下水に影響が出たときは、周辺の環境調査や健康調査も含め、環境改善費用は莫大なものになります。

消防機関の立入検査の時に漏えいが発見されるケースが多くなっていますが、在庫管理や日常点検等で漏えいを自主的に早期に発見することが大切です。

1 漏えいを早期に発見するためのポイント

- ① 在庫管理による保管量の把握と、異常時におけるチェックの徹底
- ② 日常点検等で、漏えい検査管での漏えい確認の徹底
- ③ 保安検査の徹底

※万が一漏えい等を確認したときは、直ちに消防機関へ通報しましょう。

2 県内の事故事例

- ① 地下タンク貯蔵所（灯油用）の点検を行ったところ、漏えいが見つかった。タンク内を調査したところ、タンク下部に穴が開いていた。
(H27)
- ② 地下タンク貯蔵所の日常点検を行ったところ、油の漏えいが見つかった。流出元を確認したところ屋外タンク貯蔵所（重油）の地下埋設配管に穴が開いており、その穴からの漏えいであった。
(H27)



地下タンクの腐食により
ガソリンが漏えいした
事故事例